

2012年度 大学決算について

財務部 経理課

■収支計算書

2012年4月1日から2013年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	収 入 の 部		
	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	31,350,050	31,436,006	△ 85,956
手数料	1,713,950	1,823,829	△ 109,879
寄付金	277,230	1,102,538	△ 825,308
補助金	3,923,720	3,876,372	47,348
資産運用収入	625,960	674,614	△ 48,654
資産売却差額	478,050	490,845	△ 12,795
事業収入	562,560	724,990	△ 162,430
雑収入	822,790	927,204	△ 104,414
繰出金	204,600	200,291	4,309
分担金	117,010	117,010	0
（帰属収入合計）	（ 40,075,920 ）	（ 41,373,699 ）	（ △ 1,297,779 ）
当期固定資産除却額	1,871,930	2,072,636	△ 200,706
借入金等収入	0	0	0
当期末未払金	24,100	72,207	△ 48,107
第2号基本金取崩額	4,490,000	4,490,000	0
（基本金過年度組入額、未組入額合計）	（ 6,386,030 ）	（ 6,634,843 ）	（ △ 248,813 ）
特定支出準備金取崩額	94,380	360,205	△ 265,825
〔収入の部合計〕	〔 46,556,330 〕	〔 48,368,747 〕	〔 △ 1,812,417 〕

科 目	支 出 の 部		
	予 算	決 算	差 異
人件費	19,475,410	19,482,901	△ 7,491
教育研究経費	14,948,150	15,757,475	△ 809,325
消耗品費他	11,650,780	12,457,813	△ 807,033
減価償却額	3,297,370	3,299,662	△ 2,292
管理経費	1,674,410	1,756,816	△ 82,406
消耗品費他	1,534,820	1,616,891	△ 82,071
減価償却額	139,590	139,925	△ 335
借入金等利息	11,500	11,498	2
資産処分差額	120,930	293,498	△ 172,568
徴収不能引当金繰入額	176,280	153,932	22,348
徴収不能額	0	8,487	△ 8,487
繰入金等	555,450	585,054	△ 29,604
予備費	120,000	0	120,000
（消費支出合計）	（ 37,082,130 ）	（ 38,049,661 ）	（ △ 967,531 ）
施設関係支出	10,311,110	7,350,963	2,960,147
設備関係支出	2,968,590	3,359,187	△ 390,597
当期固定資産受贈額	0	349,653	△ 349,653
借入金等返済支出	206,080	206,080	0
前期末未払金	172,040	172,026	14
第2号基本金組入額	0	0	0
第3号基本金組入額	0	0	0
第4号基本金組入額	△ 14,500	△ 14,500	0
（基本金要組入額、当年度組入額合計）	（ 13,643,320 ）	（ 11,423,409 ）	（ 2,219,911 ）
特定支出準備金繰入額	592,730	1,602,762	△ 1,010,032
〔支出の部合計〕	〔 51,318,180 〕	〔 51,075,832 〕	〔 242,348 〕

収支差額の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
(当年度消費収支差額)	(△ 4,761,850)	(△ 2,707,085)	(—)
消費支出準備金繰入額	0	△ 257,883	—
消費支出準備金取崩額	1,233,270	0	—
〔繰入取崩後当年度消費収支差額〕	〔 △ 3,528,580 〕	〔 △ 2,964,968 〕	〔 — 〕
〔前年度繰越消費収支差額〕	〔 △ 31,299,170 〕	〔 △ 31,299,176 〕	〔 — 〕
〔翌年度繰越消費収支差額〕	〔 △ 34,827,750 〕	〔 △ 34,264,144 〕	〔 — 〕

借入金			
科 目	予 算	決 算	差 異
〔前年度未借入金残高〕	〔 △ 722,610 〕	〔 △ 722,610 〕	〔 — 〕
当年度借入額	—	—	—
当年度返済額	206,080	206,080	—
〔当年度未借入金残高〕	〔 △ 516,530 〕	〔 △ 516,530 〕	〔 — 〕

用語解説

● 収支計算書 ●

学校法人会計基準に基づく消費収支計算書においては基本金組入額を帰属収入から控除して表示しているため、収支の内容をよりわかりやすくするために、消費収支計算書に基本金組入計算に係る各項目をそれぞれ収入・支出の部に計上したのが「収支計算書」です。

● 基本金 ●

第1号基本金は、学校法人が、教育研究活動に供するため、自己資金により取得した固定資産の価額です。

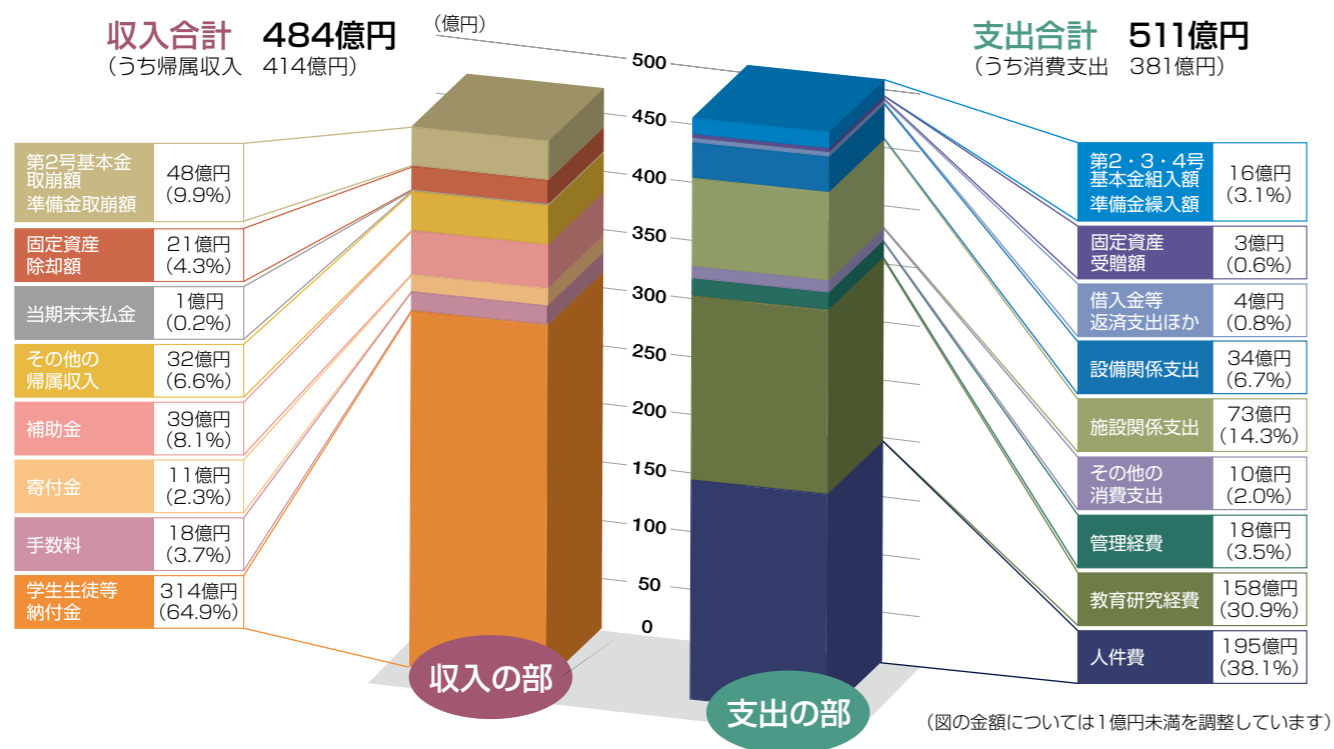
収支計算書において第1号基本金組入額は、支出の部に取得した固定資産(施設関係支出、設備関係支出、現物寄付資産)の額を表示し、さらに過年度取得した固定資産に係る借入金等返済支出を表示しています。また、収入の部に固定資産取得に係る借入金等収入、固定資産除却による再取得価額などを表示しています。

第2号基本金は、将来取得する固定資産に充てるための資金です。

第3号基本金は、基金として継続的に保持し、その運用果実により教育研究活動の遂行を支援するための資金です。

第4号基本金は、恒常的に保持すべき資金として学校法人会計基準が定める額です。

■収支構成図



収入の部

学生生徒等納付金は314億円で、帰属収入に占める割合(学納金比率)は76%と大きな比重を占めています。

手数料は18億円で、入学検定料が主なものです。

寄付金は11億円で、教育研究施設等整備資金寄付金、奨学寄付金、寄付教育研究プロジェクトなど教育研究活動への寄付金、奨学事業への寄付金、今出川キャンパス新校舎建設資金寄付金を受入れました。

補助金は39億円で、国庫補助金が主なものです。この大部分を占めるのが私立大学等経常費補助金で、一般補助20億円、特別補助7億円を受入れています。その他の国庫補助金では、施設設備対象の補助金として研究装置、研究設備などの採択を受け、さらに戦略的な国際化拠点の形成を目的とした国際化拠点整備事業費補助金(グローバル30)、グローバル社会で活躍できる人材を育成するグローバル人材育成推進事業(グローバル30plus)、最先端研究開発戦略的強化費補助金(頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム)などを受入れました。

資産運用収入は7億円で、各種引当資産の運用収入および預金などの受取利息・配当金、施設設備利用料収入などです。

事業収入は7億円で、企業からの受託研究費などの受託事業収入、学生寮の寮費などの補助活動収入が主なものです。

雑収入は9億円で、私立大学退職金財団からの交付金収入が主なものです。

繰出金は2億円で、法人内諸学校からの資金調達額の返済額が主なものです。

分担金は1億円で、法人業務に係る法人内諸学校

の負担分です。
当期固定資産除却額は21億円で、機器備品の償却期間完了に伴う除却額などです。

当期末未払金は1億円で、固定資産取得に係る未払金額を今年度の基本金組入額の減額項目として計上しているものです。

第2号基本金取崩額は45億円で、今出川校地整備事業に充当する大学今出川校地整備資金の取崩額です。

特定支出準備金取崩額は3億円で、使途が特定された準備金の取崩額などです。

収入の部合計は484億円となり、手数料、寄付金、事業収入、雑収入などの増収および当期末未払金の増加などにより予算に対して18億円の増加となりました。

支出の部

人件費は195億円で、消費支出に占める割合(人件費比率)は47%となりました。

教育研究経費は158億円で、経常的な教育研究活動に要した経費です。

管理経費は18億円で、大学の維持管理に要した経費です。

繰入金は6億円で、法人内諸学校への資金調達による繰入額が主なものです。

施設関係支出は73億円で、今出川校地整備事業などによる支出です。

設備関係支出は34億円で、教育研究用機器備品、図書などの固定資産取得に係る支出です。

当期固定資産受贈額は3億円で、現物寄付金に相当する固定資産の取得額です。

借入金等返済支出は2億円で、償還計画に基づく

返済額です。
前期末未払金は2億円で、前年度に取得した固定資産に係る未払金額の支払額を今年度の基本金組入額として計上しているものです。

特定支出準備金繰入額は16億円で、使途特定寄付金および研究費などの予算繰越額を決算において繰り入れたものです。

支出の部合計は511億円で、予算に対して2億円の減少となりました。

収支差額

収入の部合計から支出の部合計を差し引いた**当年度消費収支差額は27億円**の支出超過となり、寄付金収入の増加や教育研究経費の執行残などにより、予算に対して21億円減少しました。なお、累積消費収支差額としては**343億円**の支出超過額を翌年度以降に繰り越すことになります。

借入金

借入金残高は、前年度末に対して2億円減少し、当年度末では**5億円**となりました。

自己資金の不足額

消費支出超過額は内部資金の不足額であり、借入金は外部資金への依存額です。したがって、この両方を合わせた金額が自己資金の不足額となります。

前年度末の不足額は320億円でしたが、当年度末は28億円増加して**348億円**となりました。

(本文中の金額については1億円未満を調整しています)